資料１

第４回検討委員会での主な意見について

2016 年 11 月 1 日

・第４回検討委員会で頂きました主な意見及び対応について示します。

第４回検討委員会での主な意見	対応
全体	
〇重点事業と実施事業の関係性がわかりにくい ・重点事業と実施事業の関係性がわかりにくい。重点事業については、これまでの経過をふまえ、新たに事業として立ち上げたり、継続させていく事業であり、重点事業以外の実施事業は重点事業を推進するための事業ではないのか。 ・実施事業⑥～⑰について、アクションプランに改めて記載するのはやめたほうが良いと考える。むしろ、重点事業について具現化することが重要である。事業内容を具体的に記載したり、課題認識について丁寧に記載すべき。その他の実施事業については記載せず、重点事業を推進するにあたり関連する事業は事業の成熟状況を考慮して、適宜機動的に実施すると記載すればよい。	→ご意見を踏まえ、掲載する事業は、重点事業を中心として北部丘陵の活性化を推進していく事業と考え、「推進事業」と名称を変更しました。また、事業の関係性について再度整理しました。ｐ16～18 参照
〇事業の推進プロセスを示すべき ・計画をどう地元に落とし込み、動かしていくのかのプロセスが大事。第３章推進方策の記載が重要である。	→ご意見を踏まえ、第３章アクションプランの推進方策において、具体的に記載しました。ｐ45～46 参照
〇活動主体・内容の書き込みが重要である ・アクションプランの４年間は次期活性化計画につなげるステップであり、具体的な手法よりもどこで誰が活動していくかが重要。	→ご意見を踏まえ、小山田・小野路地域の事業展開イメージをアクションプランの 2-4 に記載しました。ｐ41～43 参照
重点事業・実施事業	
重点事業①：新たな交流・回遊拠点の開設 ・まちだ結の里では、今、外部の人とどうつながりを持つかが課題となっている。奈良ばい谷戸は、散策や自然観察に訪れる人が多いことから、そうした散策、自然観察する方が集まれる場所があるとよい。地域の資源を活かした体験学習イベントの開催や工作等ができる場所となり、地域の活性化につながるのではないかと考える。	→ご意見を踏まえ、「推進事業①：新たな交流・回遊拠点の開設」に記載しました。
重点事業②③関連　竹林や雑木林の活用方策 ・北部丘陵では、山林の管理が一番重要な問題だと思っている。竹林がどんどん増加してきている。竹林や巨木の有効活用について議論し、市で方向性を出してほしい。 ・巨木、雑木林、竹の活用方法については、できる限りアイデアを具体的に書き込み、事例を踏まえできるかどうかを皆で検討し、システム化することを考える。	→ご意見を踏まえ、「推進事業②：里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築」に記載しました。
重点事業⑤：幹線道路等の計画・変更等 ・都市計画道路 3・4・40 号線の整備も必要である。市から東京都への整備に関する要望について記載してほしい。	→ご意見を踏まえ、「推進事業④幹線道路等の計画・変更等」の内容を修正しました。ｐ26 参照。

重点事業⑥：北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信 ・地域と連携した参考事例として鶴見川源流祭を追加してほしい。	→ご意見を踏まえ、「推進事業⑤北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信」の参考事例として追加しました。
実施事業⑫：生活道路の整備 ・農道よりも生活道路を整備していくことの方が大事である。生活道路に都道 155 号線以外も記載してほしい。	→ご意見を踏まえ、「推進事業⑪：生活道路の整備」の内容を修正しました。p 35 参照
実施事業⑬：新規バスルートの整備、増便 ・感覚的に、来訪者が増加してはじめて交通事業者が新たなバスルートを整備したり増便するのではないか。記述が逆でないか。まずは、観光で集客することを前面に押し出すべきである。また、居住者のための交通であることもリンクさせていく必要がある。 ・地域に居住する人にとっては、バスは必要である。 ・バスルートの話は町田市も今後の地域のまちづくり動向等先を見据えしっかりと考えるべき問題。	→ご意見を踏まえ、「推進事業⑫：新規バスルートの整備、増便」の内容を修正しました。p 36 参照
実施事業⑮：フットパスの環境整備 ・フットパスについての認識が誤っており、記載内容を修正してもらいたい。	→ご意見を踏まえ、「推進事業⑭：フットパスの環境整備」の内容を修正しました。p 38 参照
その他	
林野庁「森林・山村の多面的機能発揮対策交付金」 ・地域の活動に交付金が助成されるよう、交付金の事務手続き等に関し、活動団体に対する市の支援が必要である。	→ご意見を踏まえ、「推進事業②：里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築」に記載しました。
○活動の場と内容のマトリックスの作成 ・場所、活動内容、活動主体、今後想定される活動主体等を整理したマトリックスを作成し、進捗状況を管理してはどうか。	→ご意見を踏まえ、第６回検討委員会での提示を予定しています。
○資源に着目したマトリックスの作成 ・地域が持っている資源等に着目したマトリックスが作成できないか。（こういう資源にはこういう取り組みが行われる等）	→ご意見を踏まえ、第６回検討委員会での提示を予定しています。
○地域ごとの事業展開イメージ ・NPO 法人による野中谷戸の活動エリアが違っているため、修正してほしい。 ・町田市観光コンベンション協会では、小野路の馬場地区において、農業研修農場卒業生と連携して、ウォーキングとセットで農業体験教室を実施。炭焼きも実施。活動内容を加えてほしい。 ・本委員会内容について、現時点では地元に話をすることができていない。計画内容や事業のメニュー等、形が見えてこないと、地元での検討がしにくい。	→ご意見を踏まえ、小山田地域の事業展開イメージの野中谷戸エリアを修正しました。また、小野路地域の事業展開イメージの馬場地区に活動内容を追加しました。p 43 参照
○第６次産業化の視点の追加 ・重点事業の中に、農業・交流の視点だけでなく、第６次産業化の視点が抜けている。同じ地域の中で生産・加工・販売できることに価値があり、それにより活性化が期待できると考える。	→ご意見を踏まえ、推進事業②に第６次産業化の視点を追記しました。p 23 参照